

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校
南古谷小学校5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和7年2月28日発行

準備

校長 馬場 雅史

登校指導をしていると、朝の空気で季節が少しずつ変化しているを感じます。空気だけでなく、足元に小さなオオイヌノフグリを見つけ、何となく心が温かくなりました。日本全国を見渡せば、長く続いた寒波で大雪に苦慮されている地域もある中ですが、身の周りに確実に春が近づいていることに喜びを感じます。

2月は「逃げる」と言われます。明日を迎えると、令和6年度も残りひと月となり、身の引き締まる思いです。そのような中、今月14、18、21日に開催いたしました授業参観・懇談会に、多くの保護者の皆様にご参加くださり誠にありがとうございました。この1年間で、子供たちの心も体も確かな成長がありました。その一端を授業参観でご覧いただけたようであれば幸いです。また、懇談会后、本校の教育活動、特に授業展開や授業中の子供たちへの対応、学校行事の在り方などについて、直接、ご意見をいただきました。改めて感謝すると共にその内容を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かして参ります。加えまして、懇談会の冒頭、ビデオ挨拶で申し上げましたが、次年度のドリル教材につきましては慎重に検討しご報告させていただきます。

ところで、昨日、1年生から6年生の子供たちが、思いを込めて「6年生を送る会」を実施いたしました。可愛らしさ、楽しさ、面白さ、カッコよさ、清々しき、凛々しきなど、各学年の発達段階に応じた表現が随所で見られました。基本となったのは日々の生活場面でしたが、その根底には子供たち同士の尊敬の思いや感謝の気持ちが込められており、胸が熱くなりました。一方で、時間が無い中での準備と本番をやり遂げた子供たちの活躍、達成感に思いが至りました。これは、今月中旬に行われた「クラス別長縄チャレンジ」にも通ずるところです。準備を重ねて本番に臨み、結果を伴って達成感を得るという行為は、人としての成長のために必要不可欠と感じました。

6年生は翌週から卒業式に向けての準備がいよいよ始まります。その過程を乗り越え、是非とも卒業式で達成感を味わい、希望を胸に進学してほしいです。また、他の学年の子供たちは、1年間のまとめと振り返りに取り組むことが次の学年に向けての準備となります。3月26日の修了式で達成感を得て期待を胸に進級できるようラストスパートに励んでほしいです。

日本、米国のプロ野球界で数々の記録を打ち立て野球殿堂入りを果たしたイチローさんは、「準備というのは言い訳の材料となり得るものを排除していくこと。そのために考え得るすべてのことをこなしていくこと。」と述べられております。独特の言い回しですが含蓄のある言葉です。子供たちの準備と同様、全職員が次年度に向けての準備を滞りなく進め、新年度を迎えたいと思います。

「第15回東部地域ふれあいセンターまつり」 開催のお知らせ

- 1 日時 令和7年3月9日(日)
午前9時30分～午後1時30分
- 2 場所 川越市東部地域ふれあいセンター
※川越市立南古谷小学校からは書き初めの作品を展示予定です。

QRコードは紙面をご確認ください。

欠席連絡は
こちらから

